

【説明資料(提出ファイル)】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFに変換した後, web 提出フォームにて提出する。

学校名	静岡大学	個人・グループ名	宮原千佳	作品名	マリオネットものづくり教材
-----	------	----------	------	-----	---------------

### 制作の動機

日本産業技術教育学会「21世紀の技術教育(改訂)」では, 創造性育成の視点から見た技術教育の在り方として, 科学, 技術, 芸術の連携・協同(協働)が欠かせないとある。しかし, 中学校技術の教材において, その制作過程から芸術的要素を意識する教材は数少ない。そこで, 本研究では中学校における技術・家庭科と美術の教科に関わる教材, または小学校における図画工作の教材として, マリオネットを用いたものづくり教材の開発を行った。

### 利用方法

マリオネットの制作を通して, 木材加工や金属加工, 機構等の学習のほか, 芸術的要素の学びが可能である。マリオネットは, 人形部分と制御器部分に大きく分けられる。中学校技術もしくは美術におけるものづくり教材としては, 人形部分には木材, 制御器部分には木材や金属を主に用いることを想定している。小学校図画工作の教材としては, 人形部分には紙粘土や厚紙, 制御器部分には木材を主に使用することを想定している。

マリオネット制作後には, それを用いた劇や鑑賞などに生かすことができる。この際, マリオネットは鑑賞者, 操作者, 制作者を結びつける。ものづくりを通じたコミュニケーションの手段となり, ものづくりの本質である使用する人のことを考えた制作となるのである。小学校低学年と高学年の学年間, または小・中学校間などの学校間での活用も可能であり, また幼児とのコミュニケーションの手段として活用することで, 家庭分野にも関わる教材となる。

こんな動きが  
できたらいいな

どんな表情  
にしよう?

### 人とのつながり

悲しい時の  
動きは…

楽しそうに  
しているね

制作者

操作者

鑑賞者

### 制作したマリオネット

子どもが制作するうえでの呈示用として, 異なる2タイプのマリオネット制作を行った。子どもの発達段階や表現したいものによって, 形を選択することができる。

← このマリオネットは, 紐のみで人形を支える支え紐型である。人形の四肢には革紐を用いており, 他にも首, 耳, 尻尾が動く。水彩絵の具で着色し, ガラス, 革, 釘などを使用し装飾した。

可動部分が多いため糸の数が多く, 糸が絡まりやすい。またコントローラも複雑であるため, 操作が比較的難しい。だが, そのぶん細かな動きの表現が可能である。

→ このマリオネットは, アルミ棒を支えに使用した支え鉄芯型である。手と腕, 足と脚が一体化した形をとり, また頭と胴体部分も一体となっているため首は動かない。表面をやすりがけて木目を出し, 顔の模様のみ acrylic 絵の具での着色をしている。

可動部分が少なく, 支えに鉄芯があるため糸が絡まりにくい。コントローラはシンプルな形であり, 操作が比較的容易である。コミカルな動きの表現ができる。

動画 URL: <https://youtu.be/PjHkrmrvmnQ>

